



経営力再構築伴走支援について

令和7年3月10日

中小企業庁 経営支援部
経営力再構築伴走支援推進室
室長 二宮 健晴

中小企業の自己変革と伴走支援の必要性

<中小企業を取り巻く経営環境>

人口減少

(市場縮小・人手不足)

自然災害

(物理被害、間接被害)

DX・技術革新

(デジタル技術等)

新型コロナ

(消費者の行動・心理変化等)

GX・SDGs

(カーボンニュートラル等)

**国際情勢の変動
物価・エネルギー価格高騰**

構造的
不可逆的
急激
先行き不透明

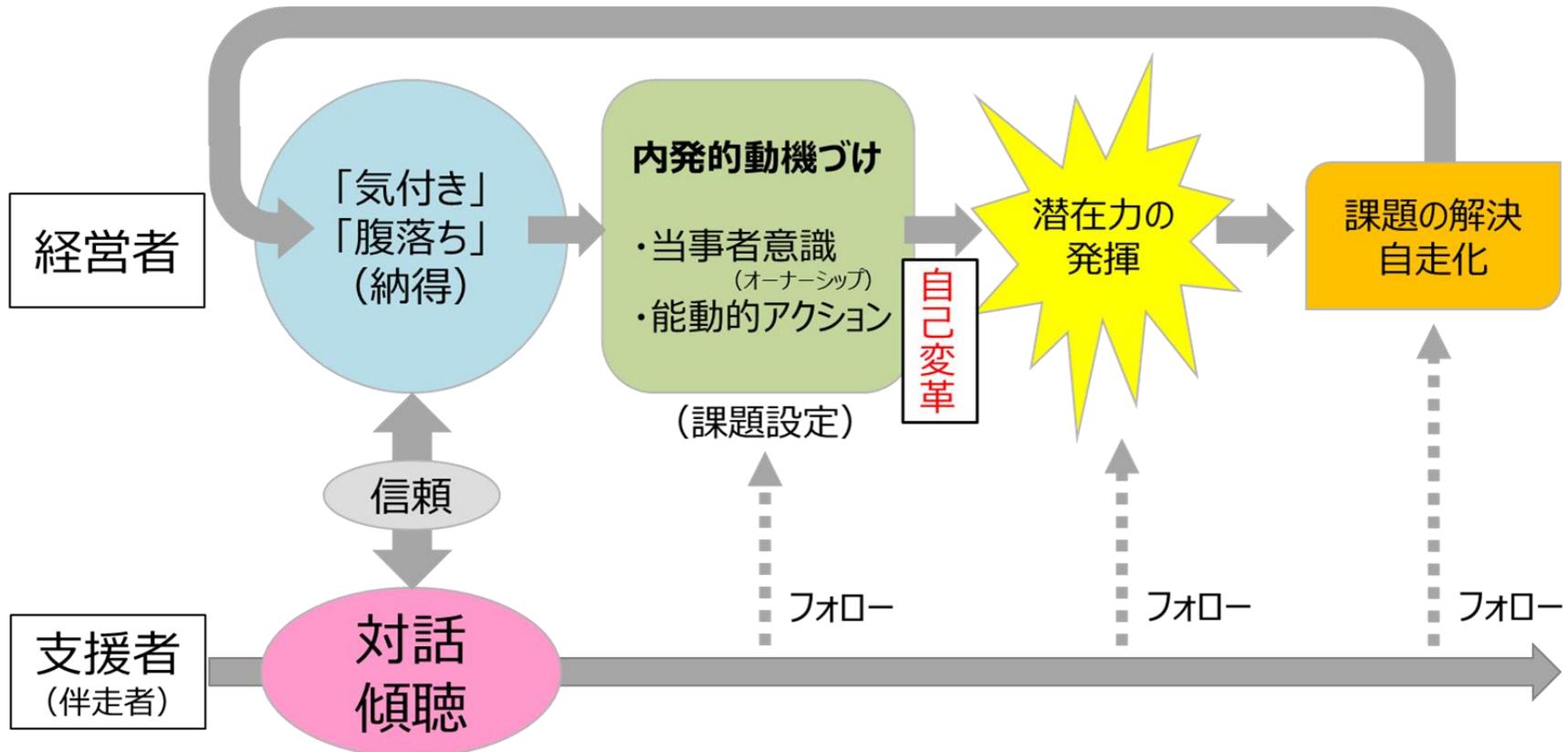
企業には環境変化に迅速、柔軟に対応する「**自己変革力**」が必要

経営者単独での
変革は容易でない

経営者を支える
**支援の在り方も
変革**が必要

経営力再構築伴走支援の定義

経営力再構築伴走支援は、経営者等との「対話と傾聴」を通じて、事業者の「本質的課題」に対する経営者の「気づき・腹落ち」を促すことにより「内発的動機づけ」を行い、事業者の「能動的行動・潜在力」を引き出し、事業者の「自己変革・自走化」を目指す支援方法。



支援のアプローチの違い

ティーチング

知識・経験の豊富な人が、そうでないと（想定する）人に解決策や答えを与えて目標達成に導く指導方法



コーチング

「答えはその人の中にある」という原則のもと、相手が状況に応じて自ら考え、行動した実感から学ぶことを支援し、相手が本来持っている力や可能性を最大限に発揮できるようにサポートするためのコミュニケーション技術（一般社団法人日本コーチ連盟）

コンテンツ・コンサルティング

専門的な知識やノウハウ（コンテンツ）を提供することで、クライアントの課題解決を支援



プロセス・コンサルティング

様々な出来事や課題の真因となる取組や過程（プロセス）にクライアントが自ら気づき、解決策を見いだせるよう支援

技術的問題
課題解決



適応課題
課題設定→課題解決

**表裏・両面から
捉える**

使い分けが必要

伴走支援の政策展開

伴走支援の普及・展開を図るため、各種の取組、事業を推進中。

(推進協議会、ガイドライン・補足資料、研修など)

1. 伴走支援の実践

2. 事例の収集

4. 支援機関の能力向上
(研修等への反映)

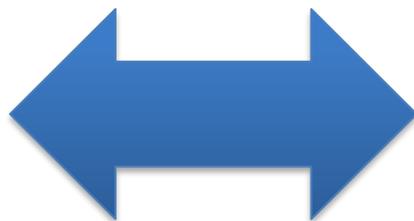
3. ノウハウの抽出
(暗黙知の形式知化)

中小企業庁 経営力再構築伴走支援推進室
経営力再構築伴走支援推進協議会

伴走支援の意義・留意点

意義

- 本質的な支援
- 自社を見つめ直す契機
- 貴重な支援の機会



留意点

- 時間（コスト）がかかる
- 個別的な対応となる
- 支援者の力量・体制が問われる

改めて、伴走支援の目的は・・・？

伴走支援の実効性向上にむけて

①各プロセスのアレンジ



伴走支援の各プロセスにおいて、従来の手法にとらわれず、実情に応じた効果的な手法にアレンジ。

- 支援のきっかけづくり
- コンパクトな支援（壁打ち）
- 複数社支援（ワークショップ）

②連携による相互補完



単独で支援を完結することは困難。各支援者・機関の強みを持ち寄り、面的な支援体制を構築。

- 支援者のネットワーク
- 組織的な連携
- 特定テーマに対応した連携

③事例・ノウハウの共有



先進的な事例やノウハウをまとめ、全国の支援者間で共有し、全体的なレベルアップを図る。

- 事例の収集・発信
- ノウハウの形式知化
- 支援者向け研修

ご清聴ありがとうございました。

中小企業庁
経営支援部 経営支援課
経営力再構築伴走支援推進室